

平成27年度
青森県の
社会教育行政



青森県教育庁生涯学習課

はじめに

青森県教育委員会では、平成26年3月に策定した「青森県教育振興基本政策」に掲げる「青森県教育施策の方針」に基づき、各政策・施策を推進させることとしています。

このうち、社会教育行政については、市町村教育委員会、家庭や地域社会との連携を図りながら「学びを生かし、つながりをつくり出す社会教育」の推進に努めているところです。

今年度は、地域活性化に向け、シニア世代を生かした取組を進めるため「アクティブシニアによる地域の未来応援事業」を新たに実施するほか、地域ぐるみのキャリア教育を推進するため、昨年度に引き続き「あおもりで「生きる・働く」を学ぶキャリア教育実践事業」を実施いたします。

さて、中央教育審議会生涯学習分科会では、今後の社会教育行政等の推進の在り方について、従来の自前主義から脱却し、首長部局・大学等・民間団体・企業等とも自ら積極的に効果的な連携を仕掛け、地域住民も一体となって協働して取組を進めていく、ネットワーク型行政の推進を通じた社会教育行政の再構築を求めています。そのため、本県においても、施策・事業の企画実施に当たっては、様々な分野の関係部署、機関、企業・NPO等との連携を踏まえていく必要があると考えているところです。

本冊子は、第1部において、本県の平成27年度社会教育行政に関わる施策と事業概要及び平成26年度の事業実績について、第2部においては、市町村及び社会教育関係団体の社会教育事業及び社会教育施設についての基礎的なデータを掲載しております。生涯学習・社会教育に関係する多くの皆様に、広く御活用いただければ幸いに存じます。

結びに、本冊子の作成にあたり御協力をいただきました、各市町村教育委員会及び社会教育施設、社会教育関係団体の皆様に心より感謝し、厚くお礼申し上げます。

平成27年4月

青森県教育庁生涯学習課長
児玉政光

目次

第1部

I	青森県教育施策の方針	1
II	平成27年度社会教育行政の方針と重点	2
III	平成27年度社会教育施策	
1	平成27年度社会教育行政の方針と重点における施策一覧	6
2	平成27年度事業の概要	
(1)	学校・家庭・地域の協働による未来を担う人財の育成	8
(2)	活力ある地域コミュニティの形成に向けた人財の育成	18
(3)	一人一人の主体的な学習と社会参加の推進	20
(4)	社会教育推進のための基盤整備	24
3	平成27年度生涯学習・社会教育関係事業等行事予定表	28
4	平成27年度社会教育関係予算の概要	40
5	附属機関の概要	
(1)	青森県生涯学習審議会	41
(2)	青森県社会教育委員	42
(3)	青森県立図書館協議会	43
6	平成27年度県社会教育関係職員	
(1)	県教育庁生涯学習課事務分掌	44
(2)	教育事務所及び県立社会教育施設の社会教育関係職員一覧 ホームページ「あおもりの生涯学習ー楽しむ 高める 生かすー」のご案内	47 49
IV	平成26年度の実績	
1	平成26年度事業の実績一覧	50
2	平成26年度事業の実績	
(1)	学校・家庭・地域の協働による未来を担う人材の育成	52
(2)	活力ある地域コミュニティの形成に向けた人材の育成	80
(3)	一人一人の主体的な学習と社会参加の推進	86
(4)	社会教育推進のための基盤整備	93
3	青少年教育施設の概要	
(1)	県立青少年教育施設の利用状況	100
(2)	県立・市町村立以外の青少年教育施設の概要	101
[参考]	平成26年度社会教育関係刊行物一覧	104
V	平成26年度青森県生涯学習関連事業調査の結果	
1	調査の概要	106
2	平成27年度に実施予定の生涯学習関連事業	
(1)	実施主体別分類	108
(2)	事業別分類	110
(3)	事業一覧	111
3	平成26年度中に実施した生涯学習関連事業	
(1)	実施主体別分類	124
(2)	事業別分類	126
(3)	事業一覧	127

第2部

I 平成27年度市町村の社会教育行政

1 市町村教育委員会の社会教育担当主管部署一覧	143
2 市町村教育委員会事務局の社会教育関係職員数	144
3 市町村の社会教育委員の委嘱状況	145
4 社会教育施設の状況	
(1) 公民館数及び公民館職員数	146
(2) 公民館一覧	148
(3) 公立図書館一覧	152
(4) 博物館等一覧	152
(5) 青少年教育施設一覧	153
(6) 教育委員会が所管するその他の社会教育施設一覧	153

II 平成26年度市町村の社会教育事業の実績

1 市町村の事業実施件数	154
2 市町村単独実施事業のうち学習機会提供事業の実施状況（事業種別）	156

III 市町村の生涯学習推進体制

IV 市町村子ども読書活動推進計画策定状況

V 主な社会教育関係団体一覧

巻末資料

• 文部科学大臣表彰者一覧	163
• 生涯学習・社会教育に係る国の審議会の主な答申等一覧	164
• 青森県基本計画・政策・施策体系（教育、人づくり分野）	165

第 1 部

I 青森県教育施策の方針

青森県教育委員会は、郷土に誇りを持ち、多様性を尊重し、創造力豊かで、新しい時代を主体的に切り拓く^{ひら}人づくりを目指します。このため、

夢や志の実現に向け、知・徳・体を育む学校教育

学びを生かし、つながりをつくり出す社会教育

次代へ伝える、かけがえのない文化財の保存・活用

活力、健康、感動を生み出すスポーツ

を、市町村教育委員会、家庭や地域社会との連携を図りながら推進します。

平成26年1月8日決定

Ⅱ 平成27年度社会教育行政の方針と重点

1 方針

県民が、自己の向上を目指して生きがいのある充実した生活を送るとともに、豊かで住みよい地域社会を形成することができるよう、学びを生かしつながりをつくり出す社会教育の推進に努める。

2 重点

(1) 学校・家庭・地域の協働による未来を担う人財の育成

- ア 青少年の体験活動の充実
- イ 地域が支えるキャリア教育の充実
- ウ 子どもの読書活動の充実
- エ 地域全体で子どもを育む活動の充実
- オ 家庭教育支援の充実

(2) 活力ある地域コミュニティの形成に向けた人財の育成

- ア 地域活動の実践者の育成
- イ 地域活動の指導者、コーディネーターの養成
- ウ 地域活動に関わる人財のネットワーク形成の支援

(3) 一人一人の主体的な学習と社会参加の推進

- ア 関係機関との連携による多様な学習活動の支援
- イ 学習成果を生かした社会参加活動の支援

(4) 社会教育推進のための基盤整備

- ア 社会教育推進体制の充実
- イ 社会教育施設の機能の充実と活用の促進
- ウ 社会教育関係職員の養成と資質の向上
- エ 社会教育関係団体等の活動の支援

※人は青森県にとって「財（たから）」であるという基本的な考え方から、ここでは「人材」を「人財」と表しています。

平成27年度社会教育行政の方針と重点について（解説）

青森県教育振興基本計画（「青森県基本計画未来を変える挑戦」の「教育、人づくり分野」）及び「青森県教育施策の方針」（平成26年1月8日決定）を踏まえ、本県の社会教育行政が取り組むべき施策の基本的方向及び重点的に取り組む施策を「社会教育行政の方針と重点」として定めるものである。

1 方針

県民が、自己の向上を目指して生きがいのある充実した生活を送るとともに、豊かで住みよい地域社会を形成することができるよう、学びを生かしつながりをつくり出す社会教育の推進に努める。

県民が、「自己の向上を目指して生きがいのある充実した生活を送る」こと及び「豊かで住みよい地域社会を形成する」ことを社会教育行政の目指す状態として掲げるものである。

その実現に向けては、人々が新たな知識や技術を学び、その成果を生かして様々な地域活動に参画していくことが求められることから、学習活動を通じて社会が人を育み、人が社会をつくるという好循環を目指し、「学びを生かしつながりをつくり出す社会教育の推進に努める」こととするものである。

2 重点

(1) 学校・家庭・地域の協働による未来を担う人財の育成

未来を担う人財である子どもたちが心豊かでたくましく成長するよう、多様な体験活動等を通して育成するとともに、学校・家庭・地域がそれぞれの役割を果たしつつ、教職員、保護者、地域住民が連携・協働して社会全体で子どもたちを育むことが求められる。

特に重点的に取り組む施策として、次の5項目を掲げる。

ア 青少年の体験活動の充実

青少年教育施設の主催事業をはじめとする自然体験活動等、多様な体験活動の機会を充実させる。

イ 地域が支えるキャリア教育の充実

社会人・職業人として自立できるよう必要な資質、能力、態度を培うキャリア教育を推進するため、地域の企業、NPO等による教育支援活動を充実させるとともに、大学との連携による高校生のキャリア形成を支援する。

ウ 子どもの読書活動の充実

子どもの読書習慣を形成するため、子どもの読書活動に関する理解と関心の普及・啓発と読書環境の整備を進める。

エ 地域全体で子どもを育む活動の充実

放課後や週末における子どもたちの体験・交流活動等、地域全体で子どもを育むためにこれまでに構築された仕組みや人財を活用した活動を充実させる。

オ 家庭教育支援の充実

家庭教育の自主性を尊重しつつ、教育の原点である家庭の教育力を高めるため、支援者の育成やその活用によるきめ細やかな家庭教育支援の取組を通して、社会全体で家庭教育を支える体制を充実させる。

(2) 活力ある地域コミュニティの形成に向けた人財の育成

豊かで住みよい地域社会、活力ある地域コミュニティの形成に向けては、地域活動に主体的に取り組む人財を育成することが求められるとともに、人財相互のネットワークづくりが必要である。

特に重点的に取り組む施策として、次の3項目を掲げる。

ア 地域活動の実践者の育成

各地域において、地域活動に係る潜在的な人財を掘り起こすとともに、地域活動に多様な側面から関わる実践者を、それぞれの個性を生かして活躍できるよう育成する。

イ 地域活動指導者、コーディネーターの育成

地域活動をけん引する指導者や、人や組織を結ぶコーディネーターを養成する。

ウ 地域活動に関わる人財のネットワーク形成の支援

地域活動の実践者、指導者、コーディネーターを始め、大学、企業、NPO等の地域活動に関わる関係者のネットワークの形成を促進する。

(3) 一人一人の主体的な学習と社会参加の推進

上記(1)(2)に掲げる「人財の育成」を進めるためには、「一人一人の主体的な学習と社会参加」が重要であり、その推進に向けては、次の2点が必要である。

第一に、学びたいことを学びたい時に学べること。第二に、学びの成果を生かして、地域における様々な活動に取り組むことができることである。

そのため、大学、企業、NPO等の関係機関との連携により、学習機会・学習情報提供や学習相談など、県民の多様な学習活動の支援に努めるとともに、学習成果を生かした社会参加活動が活発に行なわれるような仕組みの構築に努めることが求められる。

特に重点的に取り組む施策として、次の2項目を掲げる。

ア 関係機関との連携による多様な学習活動の支援

大学や企業、NPO等の関係機関と連携し、県民の多様な学習ニーズや地域課題に応じた学習機会・学習情報提供、学習相談の充実等、県民一人一人の主体的な学習活動を支援する。

イ 学習成果を生かした社会参加活動の支援

「社会参加活動支援センター」（総合社会教育センター内に設置）の機能の充実や市町村等のボランティア関係機関職員の研修の実施及びネットワークの構築等、県民一人一人の学習成果を生かした社会参加活動を支援する。

(4) 社会教育推進のための基盤整備

上記(1)～(3)の重点施策を実現するため、社会教育推進のための基盤整備に継続的に取り組む。

ア 社会教育推進体制の充実

青森県生涯学習審議会、青森県社会教育委員の会議による提言等に基づき施策の充実に努めるとともに、施策立案に資する調査研究を実施する。

イ 社会教育施設の機能の充実と活用の促進

県の社会教育施設（県立図書館、総合社会教育センター、県立少年自然の家）の機能の充実に努めるとともに、各市町村の公民館、図書館等社会教育施設についても、活用促進に向けて支援する。

ウ 社会教育関係職員の養成と資質の向上

社会教育主事、図書館司書、視聴覚教育に関わる職員等の養成と資質の向上を図る。

エ 社会教育関係団体等の活動の支援

県内の社会教育関係団体等が行う活動を支援する。

Ⅲ 平成27年度 社会教育施策

1 「平成27年度社会教育行政の方針と重点」における施策・事業一覧

重 点	事業番号	平成27年度事業一覧	所管	掲載ページ
(1) 学校・家庭・地域の協働による未来を担う人財の育成	1	あおもりで「生きる・働く」を学ぶキャリア教育実践事業	《企画》	P. 8
	2	子どもの読書活動推進事業	《企画》	
ア 青少年の体験活動の充実	3	いじめ根絶キャンペーン推進事業	《企画》	P. 9
	4	子ども健康促進事業（地域で進めるすくすく青森っ子の育成）	《地域》	
イ 地域が支えるキャリア教育の充実	5	障害者青年学級開設	《地域》	P. 10
	6	放課後子ども教室推進事業	《地域》	
ウ 子どもの読書活動の充実	7	地域の豊かな社会資源を活用した土曜学習推進事業【新規】	《地域》	P. 11
	8	家庭教育支援推進事業	《地域》	
エ 地域全体で子どもを育む活動の充実	9	障害者家庭教育学級開設	《地域》	P. 11
	10	若者の社会参加促進事業【新規】	《地域》	
オ 家庭教育支援の充実	11	高大連携キャリアサポート推進事業	《社セ》	P. 12
	12	高校生スキルアッププログラム推進事業	《社セ》	
	13	未来の青森県を担う若人育成講座	《社セ》	
	14	学校と地域の協働実践セミナー	《社セ》	P. 13
	15	絆でつながる家庭教育支援セミナー	《社セ》	
	16	家庭教育支援コンテンツ制作事業	《社セ》	
		17	家庭教育相談事業	《社セ》
18		子どもの読書活動推進のための図書セット貸出事業	《図書》	
19		高校生の読書活動推進のための図書セット貸出事業【新規】	《図書》	
20		梵珠少年自然の家主催事業（親子のつどい、子どものつどい）	《梵珠》	P. 15
21		自然体験活動支援事業	《梵珠》	
22	在学少年宿泊指導者研修	《梵珠》		
	23	ファミリー防災キャンプ事業	《梵珠》	P. 16
	24	種差少年自然の家主催事業（自然と遊ぼう、こどもの祭典）	《種差》	
	25	自然体験活動支援事業	《種差》	P. 17
	26	在学少年宿泊指導者研修	《種差》	
	27	親子で学ぶ防災キャンプ事業	《種差》	

(2) 活力ある地域コミュニティの形成に向けた人財の育成 ア 地域活動の実践者の育成 イ 地域活動の指導者、コーディネーターの養成 ウ 地域活動に関わる人財のネットワーク形成の支援	28	市町村の社会教育活性化支援事業【新規】	《地域》	P. 18
	29	パワフルAOMORI!創造塾	《社セ》	
	30	生涯学習・社会教育関係職員研修講座	《社セ》	P. 19
(3) 一人一人の主體的な学習と社会参加の推進 ア 関係機関との連携による多様な学習活動の支援 イ 学習成果を生かした社会参加活動の支援	31	アクティブシニアによる地域の未来応援事業【新規】	《企画》	P. 20
	32	県立学校開放事業	《企画》	
	33	あおもり県民カレッジ運営業務	《指定管理》	P. 21
	34	元気青森人を創造するeラーニング推進事業	《社セ》	
	35	学習情報の収集・提供事業	《社セ》	P. 22
	36	青森県視聴覚ライブラリー運営事業	《社セ》	
	37	ボランティア活動支援機関連絡会議	《社セ》	
	38	近代文学館特別展開催	《図書》	
	39	近代文学館企画展開催	《図書》	P. 23
	40	アウトリーチサービス推進事業	《図書》	
(4) 社会教育推進のための基盤整備 ア 社会教育推進体制の充実 イ 社会教育施設の機能の充実と活用の促進 ウ 社会教育関係職員の養成と資質の向上 エ 社会教育関係団体等の活動の支援	41	生涯学習推進基盤整備事業 (生涯学習推進本部、青森県生涯学習審議会)	《企画》	P. 24
	42	生涯学習・社会教育総合調査研究事業	《企画》	
	43	青森県社会教育委員の運営	《企画》	
	44	市町村の社会教育に関する現状調査及び「青森県の社会教育行政」の作成	《企画》	P. 25
	45	市町村の社会教育活性化支援事業【新規】(再掲)	《地域》	
	46	社会教育主事派遣事業	《企画》	
	47	生涯学習専門講座派遣事業	《企画》	
	48	社会教育主事等一般研修	《企画》	
	49	社会教育主事有資格者育成派遣事業	《企画》	
	50	ボランティア関係機関職員養成講座	《社セ》	
	51	在学青少年育成費補助事業	《地域》	
	52	青森県連合青年団活動費補助事業	《地域》	
	53	青森県地域婦人団体連合会補助事業	《地域》	
	54	生涯学習・社会教育関係職員研修講座(再掲)	《社セ》	P. 27
	55	県立図書館資料整備	《図書》	
	56	市町村立図書館等職員研修事業	《図書》	

【所管凡例】

《企画》生涯学習課企画振興グループ
《図書》県立図書館
《事務》各教育事務所

《地域》生涯学習課地域連携推進グループ
《梵珠》県立梵珠少年自然の家
《指定管理》指定管理者事業

《社セ》県総合社会教育センター
《種差》県立種差少年自然の家

2 平成 27 年度事業の概要

(1) 学校・家庭・地域の協働による未来を担う人財の育成

- ア 青少年の体験活動の充実
- イ 地域が支えるキャリア教育の充実
- ウ 子どもの読書活動の充実
- エ 地域全体で子どもを育む活動の充実
- オ 家庭教育支援の充実

生涯学習課

あおもりで「生きる・働く」を学ぶキャリア教育実践事業 4,665 千円

[事業目的及び概要]

子どもたちの自己肯定感を高め、将来の夢や希望に向け積極的に行動するよう促すため、地域産業による教育支援活動の促進、校種間の連携及び地域との連携を融合した実践研究等に取り組み、学校・地域・家庭におけるキャリア教育の一層の充実をめざす事業である。

[事業内容]

- (1) 地域からの教育活動支援体制の充実
 - ア 青森県キャリア教育推進協議会の運営（年3回）
 - イ 地域産業による教育活動支援体制を充実させるための取組の実施
 - (ア) 教育CSRセミナーの開催
 - 開催日：9/16(水)
 - 場所：県総合社会教育センター
 - (イ) あおもりキャリア教育応援企業表彰（教育CSR表彰）の実施
 - ウ キャリア教育実践を展開する各地区実行委員会への支援
- (2) 家庭における意識啓発
 - ア 企業等における「働く背中を見せるキャンペーン」の実施
 - (ア) 企業・事業所等に地域の子どもたちを対象とする職場参観日や職場見学等の実施呼びかけ
 - (イ) 「あおもり子ども職場参観日 in 県庁」の実施
 - 開催日：7/30(木)
- (3) あおもりで「生きる・働く」を学ぶ実践活動の展開

地域の特色を生かしたキャリア教育実践の充実のための以下の取組を、県内6地区に設置される実行委員会に事業委託して行う。

 - ア 研究指定校による実践研究への支援
 - イ 出前授業、職場体験活動など地域産業による学校への教育支援活動の仲介
 - ウ 社会教育施設等におけるキャリア教育モデル事業の実施
 - エ 企業等による教育支援プログラムの開発の支援
 - オ 教育支援活動推進員の発掘及びコーディネーターとしてのスキルアップ
- (4) 啓発と成果の普及
 - ア あおもりで「生きる・働く」を学ぶキャリア教育推進大会の開催
 - 開催日：11/18(水)
 - 場所：県総合社会教育センター
 - イ ポータルサイトの運営
 - ウ 事業報告書の作成

子どもの読書活動推進事業 2,432 千円

[事業目的及び概要]

平成26年度に策定した「青森県子ども読書活動推進計画（第三次）」に基づき、読書に親しみ自主的に読書活動をする子どもたちを育てるため、家庭・地域・学校が連携して、子どもが読書に親しむ機会の充実、環境の整備・充実、理解と関心の普及啓発を進める取組を展開する事業である。

〔事業内容〕

- (1) 乳幼児期からの読み聞かせ活動の推進
 - ア 小学校における読み聞かせボランティア活動の推進
小学校へ「親子ふれあい読書アドバイザー」を派遣することにより、学校における読み聞かせ活動を促進するとともに、PTAに対し読み聞かせの効果や家庭での読み聞かせの大切さについて理解を深める機会とする。
 - イ 「親子ふれあい読書アドバイザー」の新規養成及び読み聞かせ実践者のスキルアップ
「親子ふれあい読書アドバイザー」の新規養成及び読み聞かせ実践者のスキルアップを図るための研修会を開催する。
 - ウ 啓発小冊子「絵本でゆたかな親子の時間」の活用促進
乳幼児期からの家庭での読み聞かせの大切さを伝えるため、読み聞かせ研修会やブックスタート等での啓発小冊子の活用を促進する。
- (2) 読書離れへの対応に係る研修会等の開催
高校生の読書活動推進のため青森県高等学校教育研究会図書館部会等と連携し、各学校の図書委員や学校図書館担当教職員を対象とした研修会を行う。
- (3) 子どもの読書活動推進に係る普及・啓発
 - ア 子どもの読書活動推進大会の開催
子どもの読書習慣の形成と豊かな心の育成を図る機運を高めるため、一般県民、市町村図書館関係職員、教職員を対象に子どもの読書活動推進大会を県内2か所で開催する。
○9/26（土）八戸市 10/10（土）つがる市
 - イ 第三次計画周知のためのリーフレットの作成
青森県子ども読書活動推進計画（第三次）の内容を広く県民に周知するため、リーフレットを作成する。

いじめ根絶キャンペーン推進事業 3,188 千円

〔事業目的及び概要〕

学校・家庭・地域社会すべてにおいて、子どもの人権に関わる理解と認識を深めるため、いじめ根絶に向けた県民レベルの具体的な取組を一層強化するとともに、県民に対するキャンペーン等を幅広く展開する事業である。

〔事業内容〕

- (1) いじめ根絶CM原作コンクール
中学生、高校生、一般県民からいじめ根絶テレビCMの原作を募集し、優秀作品9本を選定、表彰する。
- (2) 「いじめ根絶キャンペーン」テレビCM制作・放送
CMコンクール優秀作品を元にしたCM案コンペを開催し、CM案と制作会社を決定し、放送する。

子ども健康促進事業

（地域で進めるすくすく青森っ子の育成） 1,656 千円

〔事業目的及び概要〕

肥満傾向児の出現率を低下させることを目的に、家庭と地域と連携し、学校教育活動以外の場面の運動量の増加と家庭における食育の推進を図る取組を行う事業である。

〔事業内容〕

- (1) 遊びのマスター派遣
普段の遊びや学校教育活動以外の場面において、子どもの運動量を増やすことを目的に、体を動かすことが楽しくなるような活動を指導する講師を、放課後子ども教室や放課後児童クラブ等の子どもたちが週末や放課後に過ごす場に派遣する。
- (2) 食卓から子どものヘルスアップセミナー
祖父母世代（親世代も含む）を対象に、子どもたちの健康と食に関する課題の理解や家庭での食生活の見直しにつながるセミナーを県内6地区で開催する。
- (3) 親子健康キャンプ
望ましい運動習慣と食習慣、生活習慣の形成のため、梵珠少年自然の家、種差少年自然の家及びむ

つ市下北自然の家を会場に、親子で宿泊し、望ましい食体験や運動体験、健康に関わる講話を聞く等の活動を行う。

障害者青年学級開設 963 千円

[事業目的及び概要]

特別支援学校卒業後の障害のある青年たちが、社会性や生活技術、知識を身に付けたり、仲間づくりを行ったりすることを目的として、集団学習や趣味の講座、スポーツを通して他の卒業生や在校生、地域住民等と交流する機会を提供する事業である。

[事業内容]

- 開設学級：視覚障害青年学級、病虚弱青年学級、肢体不自由青年学級、知的障害青年学級
- 開設場所：県内特別支援学校(15校)
- 開設時間：3～4日間で計10時間程度
- 対象：障害のある青年等
- 学習内容：(1)社会参加学習
(一般教養の向上、職業生活、日常生活を豊かにすること、障害者の福祉)
- (2)スポーツ体験交流

放課後子ども教室推進事業 51,020 千円

[事業目的及び概要]

子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進することを目的として、放課後の子どもたちの安全・安心な居場所を設け、スポーツ・文化活動等の体験活動、地域住民と交流活動等の取組を実施する事業である。

[事業内容]

- (1) 放課後子ども総合プラン推進委員会
行政関係者、学校関係者、社会教育関係者、福祉関係者、学識経験者等で構成し、全児童の放課後対策の諸課題について協議するとともに、放課後対策事業の実施方針、安全管理方策、広報活動方策の策定や、指導者研修の企画、事業実施後の検証・評価等を行う。年2回開催。
- (2) 指導者研修
放課後子ども教室関係者と児童クラブ関係者等を対象とした指導員研修を実施する。
 - ア 放課後子ども総合プランコーディネーター等研修
(ア) 主管：県総合社会教育センター
(イ) 回数：1回(2日)
 - イ 放課後子ども総合プラン指導員等研修
(ア) 主管：各教育事務所
(イ) 回数：前後期2回(延べ12日)
- (3) 放課後子ども教室推進事業費補助
放課後子ども教室推進事業を実施する市町村（中核市の青森市を除く）に補助金を交付する。
予定：24市町村（子ども教室数 87教室）
平内町 外ヶ浜町 今別町 深浦町 中泊町 鶴田町 弘前市 平川市 藤崎町
大鰐町 十和田市 七戸町 おいらせ町 六戸町 横浜町 東北町 むつ市
大間町 風間浦村 佐井村 八戸市 三戸町 五戸町 階上町

地域の豊かな社会資源を活用した土曜学習推進事業 832 千円

[事業目的及び概要]

学校・家庭・地域が連携し、子どもたちにとってより有意義な土曜日の実現をめざすため、地域の多様な経験や技能を持つ人材等の協力により、土曜日に体系的・継続的な教育プログラムを企画・実施する取組を支援する事業である。

[事業内容]

- 地域の豊かな社会資源を活用した土曜学習推進事業費補助
土曜学習推進事業を実施する市町村（中核市の青森市を除く）に補助金を交付する。
予定：4市町村（土曜学習実施箇所数 10箇所）
中泊町 弘前市 七戸町 おいらせ町

家庭教育支援推進事業 1,155 千円**〔事業目的及び概要〕**

家庭教育はすべての教育の原点であることから、家庭を取り巻く環境が変化中、社会全体で家庭教育を支援することを目的として、今日的な課題に対応する学習プログラムの作成や当該プログラムの進行役（あおもり家庭教育アドバイザー）の養成・派遣等を行う事業である。

〔事業内容〕

- (1) 家庭教育支援推進協議会の設置
家庭教育に関する今日的課題に対応し、家庭教育支援の活性化を図る取組について協議、運営する。
- (2) あおもり家庭教育アドバイザーの養成・派遣
「あおもり親楽プログラム」を活用した学習を進行するあおもり家庭教育アドバイザーを養成し、市町村及びPTA等の団体の要望に応じて研修会や学習会等の機会に派遣する。
ア あおもり家庭教育アドバイザー養成講座 2回×2地区（東青地区・下北地区） 各30名程度
イ あおもり家庭教育アドバイザーフォローアップ研修 年1回 県総合社会教育センター
ウ あおもり家庭教育アドバイザーの派遣 20回程度
- (3) 家庭教育学習テキストの作成
親等が主体的に学び合う参加型学習プログラム「あおもり親楽プログラム」の改訂版を作成する。
- (4) 情報交換会の開催
家庭教育支援者等の資質向上と、その連携を促進する情報交換会を実施する。
○年1回 県総合社会教育センター
○対象 市町村教育委員会家庭教育担当者、家庭教育支援チーム、あおもり家庭教育アドバイザー養成講座受講者・登録者、家庭教育に携わっている方など

障害者家庭教育学級開設 665 千円**〔事業目的及び概要〕**

障害のある児童生徒の保護者に対する家庭教育支援を目的として、特別支援学校に家庭教育学級を開設する事業である。

〔事業内容〕

- 開設場所：県内特別支援学校(19校)
- 開設時間：4日間で計10時間程度
- 対象：障害のある子どもの保護者等
- 学習内容：一般教養の向上、児童生徒の心理や行動、障害者の就労、福祉、体育及びレクリエーション

若者の社会参加促進事業 534 千円**〔事業目的及び概要〕**

学習や社会生活に困難を有する若者の社会参加を促進することを目的に、若者の社会参加について考えるセミナーを幅広く展開するとともに、社会教育施設を拠点として若者と地域とのつながりを形成する事業である。

〔事業内容〕

- (1) 困難を有する若者等のニーズに関する調査
高校生の中途退学や不登校の生徒への指導経験がある教員に対して、中途退学や不登校に至る経緯や現在の状況等の実態、現在支援して欲しいこと等についてアンケート調査を行う。
- (2) 若者の社会参加について考えるセミナー
困難を抱える若者や家庭について、中・高校生の保護者を対象に、様々な困難を有する若者とその社会参加について考えるセミナーを青森県高等学校PTA連合会に委託して実施する。
- (3) 若者の拠点づくり支援
公民館等の社会教育施設を拠点に、若者(20～30代)を対象とした事業の企画を支援するとともに、実施に係る謝金と旅費を負担する。 ※年12回程度。

総合社会教育センター

高大連携キャリアサポート推進事業 917 千円

〔事業目的及び概要〕

高校生の「やる気」や意欲を引き出し、自らの夢に向かって主体的に行動できる人材を育成するため、コミュニケーションやコーチング等所定の研修を修了した大学生によるワークショップを開催する事業である。

〔事業内容〕

(1) ワークショップ「キャリアサポ」の実施

高校生の意欲を引き出し、自分自身の見つめ直しにつながる、大学生によるワークショップを開催する。

○時期：6月～3月

○場所：県立高校 24校

(2) キャリア形成の支援

- ア 高大連携キャリアサポート推進事業に係る会議の開催
(大学関係者会議、大学生会議、実施校担当者連絡会議)
- イ 関係者研修会(キャリア形成支援教育研修会)の開催
- ウ 大学生ボランティア対象研修会等の実施

高校生スキルアッププログラム推進事業 285 千円

〔事業目的及び概要〕

高校生が社会の変化に柔軟に対応したくましく生きるための様々なスキルの向上を図ることを目的として、学校外における学習への積極的な参加を推進する事業である。

〔事業内容〕

- (1) 高校生スキルアッププログラムの運営
- (2) 担当教員研修の実施
- (3) 評価サービス

未来の青森県を担う若人育成講座 1,671 千円

〔事業目的及び概要〕

中学生・高校生が地域の課題を見つけ、自分の良さや思いを生かした活動に取り組む若人を育成することを目的として、自主性やリーダーの資質をさらに高める講座を開催する事業である。

〔事業内容〕

(1) 講座内容

第1講座「コミュニケーション能力を高める講座」 1日：研修室等

第2講座「自分や仲間の良さを知る講座」 1泊2日：宿泊施設等

第3講座「地域で実践活動を体験し、仲間と実践する企画を考える講座」 1泊2日：宿泊施設等

第4講座「地域実践活動を企画する講座」 1日：研修室等

第5講座「地域実践活動を準備する講座」 1日：研修室等

第6講座「地域実践活動を実行する講座」 1日：実施場所

第7講座「これまでの実践活動等を振り返り、どのように活かすかを考える講座」 1日：研修室等

(2) 実施時期：7月～11月

(3) 実施場所：つがる市、板柳町

(4) 定員：30名

学校と地域の協働実践セミナー 829 千円**【事業目的及び概要】**

学校と地域が一体となって子どもたちを育てるために、学校と地域の協働を推進する人材及び子どもたちの育成に関わる活動実践者を養成することを目的とした研修を行う事業である。

【事業内容】

- (1) 公開講演(全国の先進的な取組についての講演、情報交換など)
 - 開催日：7/29(水)
 - 会場：県総合社会教育センター
 - テーマ：地域と学校はパートナー～これからの地域と学校のあり方～
- (2) 地区研修会(講義、演習など)県内5地区開催

開催地区	開催予定日	会場	テーマ
東 青	6/24(水)	県総合社会教育センター	地域と密着した教育活動への取組
西 北	7/15(水)	板柳町多目的ホールあぶる	地域で支える子どもの育ち
中 南	9/10(木)	黒石市産業会館	子どもと共にある地域づくり
上 北	10/22(木)	十和田市東公民館	地域で支える子どもの育ち
三 八	10/28(水)	八戸市総合福祉会館	地域で支える子どもの育ち

絆でつながる家庭教育支援セミナー 886 千円**【事業目的及び概要】**

家庭教育支援に関わる人々の輪を広げるため、地域の絆の中での家庭教育支援につながる講座の企画・運営等の実践を通して、地域に密着した家庭教育支援者を育成する事業である。

【事業内容】

- (1) 各市町村で開催する講座

地域で家庭教育支援を行う上で知っておいた方が望ましい基礎知識等を学びながら、講座の企画・運営のノウハウを習得する。

 - ア 家庭教育支援基礎講座
 - イ プログラムづくり講座(事例発表から学ぶ)
 - ウ プログラムづくり講座(組み立て)
 - エ プログラムづくり講座(組み立て)
 - オ プログラム実践
 - カ スキルアップ講座(実践の振り返り等)
 - 開催期間：5月～11月
 - 会場：県内4市町村(西北地区：板柳町・中泊町、中南地区：黒石市・田舎館村)
- (2) 共通スキルアップ講座(4市町村合同)

関係市町村において家庭教育支援活動をさらに発展させるため、1年間の総まとめ研修会を開催する。

 - ア 公開講演会(全国的に見た家庭教育支援の現状と課題)
 - イ 情報交換会及び交流会

(ア)互いに連携して地域に根ざした活動をしていくための方策について
 (イ)家庭教育支援コンテンツの紹介及び、活動内容の充実方策の検討について

 - 開催日：11/17(火)
 - 会場：県総合社会教育センター

家庭教育支援コンテンツ制作事業 3,618 千円**【事業目的及び概要】**

家庭教育の重要性を訴えるとともに、子育てに関わる人々の抱える不安や悩みを軽減することを目的とした学習教材(動画)を制作し、学習機会と情報の提供を行う事業である。

【事業内容】

- (1) 企画委員会の設置

企画委員会を設置し、制作内容の検討・評価等を行う。

(2) 学習教材（動画）の制作

ア 一般家庭向け（5分×10本）

家庭教育の重要性を広く普及するため、家庭での様々な取組等を紹介する。

イ 家庭教育支援者向け（15分×2本）

家庭教育支援者を育成するため、家庭教育を側面からサポートする団体、チーム、地域の取組等を紹介する。

(3) ホームページでの動画配信等による各種研修会等での活用

教材は県総合社会教育センターホームページで動画配信するとともに、DVD教材として関係機関に配布し、各種研修会・会議等での活用を促す。

家庭教育相談事業 410千円

〔事業目的及び概要〕

子育て中の不安や悩みを軽減することを目的として、就学前児童から高校生の保護者や家族を対象に、電話・メール等により寄り添い型の家庭教育相談を行う事業である。

〔事業内容〕

- 対象 就学前児童から高校生までの子育て・孫育て中の親と家族
- 実施方法 電話相談・週2回 火・木曜日(祝日・年末年始を除く)13:00～16:00
メール相談・24時間受付
- 場所 県総合社会教育センター電話相談室
- 対応内容 発育・発達、しつけ、対人関係など、子どもに関する悩みや家庭教育全般
- 相談体制 家庭教育支援員及び県総合社会教育センター家庭教育担当職員が対応

県立図書館**子どもの読書活動推進のための図書セット貸出事業**

〔事業目的及び概要〕

子どもの読書活動の環境づくりを進めることを目的として、市町村立図書館等に対して幼児、児童・生徒用図書セットを貸出する事業である。

〔事業内容〕

小・中学校の朝の読書活動や幼稚園・保育所の読み聞かせ活動を支援するため、朝の読書用、父母が幼児に読み聞かせする絵本・児童書、読み聞かせ活動用の大型絵本、環境・福祉・食育等のテーマに沿った図書の各セットを、希望する市町村立図書館等に貸出しし、学校等に配本する。(4月1日(水)～3月31日(木))

高校生の読書活動推進のための図書セット貸出事業

〔事業目的及び概要〕

高校生（特別支援学校高等部を含む。）の読書活動推進を目的として、高等学校図書館等に対してキャリア教育の充実、教育活動を支援する図書セットを貸出する事業である。

〔事業内容〕

高校生の読書活動を支援するため、進路や生き方、職業選択に関する図書のほか、美術、音楽、スポーツなど高校生が興味を持ちそうな図書セットを、希望する高等学校等に貸出・配本する。(4月1日(水)～3月31日(木))

梵珠少年自然の家**梵珠少年自然の家主催事業（親子のつどい、子どものつどい） 926千円**

〔事業目的及び概要〕

参加者相互のふれあいを深めながら、自然について学ぶとともに、自然に親しむ態度や豊かな心を育てることを目的として、自然の中で多様な体験活動を行う事業である。

【事業内容】

(1) 親子のつどい

活動名	期 日	対象	募集人員	内容
①春・いっぱい	5/10(日)	小・中学校の児童生徒とその保護者	40名	ネイチャーゲーム、創作活動
②虫の世界をのぞいてみよう	8/22(土)～ 23(日)		50名	昆虫の採集と観察
③秋・みつけた	9/27(日)		40名	ネイチャーゲーム、創作活動
④わくわく自然体験デー	11/1(日)		200名	野外活動、創作活動、野外料理、遊びのコーナー
⑤門松をつくろう	12/19(土)・ 20(日)		200名	本格門松づくり
⑥冬にとびだそう	2/6(土)～ 7(日)		50名	スノーシューハイキング、そり遊び、雪灯籠づくり、キャンドルナイト

(2) 子どものつどい

活動名	期 日	対象	募集人員	内容
①アウトドアライフ 2015in サマー	8/5(水)～ 8(土)	小学校 5 年生から 中学校 3 年生まで の児童生 徒	36名	野外ゲーム、ロープワーク、野外炊事、テント泊、登山、カヌー、キャンプファイヤー
②アウトドアライフ 2016in ウィンター	①1/16(土) ～17(日)		36名	雪灯籠づくり、スノーシアター、スノーチューブ体験、思い出クラフト
	②2/27(土) ～28(日)		36名	雪上トレッキング、スノーチューブ体験、野外炊事、思い出クラフト

自然体験活動支援事業 246千円

【事業目的及び概要】

自然体験活動の促進を図ることを目的として、身近な自然環境を活用して子どもたちが効果的に体験活動ができるよう、少年自然の家の職員が指導、助言などの支援を行う。また、指導者としての基礎的な技能の習得を目的とし、青少年向けの自然体験活動を効果的にを行うための基礎的知識や野外活動プログラムの実技体験等に関する研修会を開催する事業である。

【事業内容】

(1) レッツエンジョイ！自然大好きっず

○期間：4月～5月、10月～3月

○対象：小学校、中学校、特別支援学校、PTA、青少年団体等

○内容：自然体験活動の実施について、指導者への指導・助言、児童生徒への直接指導

(2) 自然体験活動研修会

○期日：5/30(土)～31(日)

○対象：青少年教育、自然体験活動に興味のある方

○内容：自然体験活動の基礎知識、野外活動、創作活動、環境教育等のプログラム体験、ダッチオーブン体験、野営体験他

在学少年宿泊指導者研修

【事業目的及び概要】

少年自然の家での宿泊学習や自然教室等を利用団体が効果的に行うことを目的として、活動プログラムの内容や、施設・設備の利用の仕方等について学ぶとともに、利用する際の日課表を作成する事業である。

【事業内容】

○期日：4/20(月)～21(火)

○対象：平成27年度利用予定団体及び今後利用を考えている団体の引率者

○内容：講義、実技体験、宿泊体験、演習・実践

ファミリー防災キャンプ事業 209千円

【事業目的及び概要】

災害に備える態度及び実践的な対応能力を育成することを目的として、さまざまな災害の状況を想定した活動を親子で体験する事業である。

【事業内容】

○期日：11/14(土)～15(日)

○対象：小・中学校の児童生徒とその保護者

○内容：災害時の健康的食事作り、我が家の防災計画作り、避難所体験他

種差少年自然の家

種差少年自然の家主催事業（自然と遊ぼう、子どもの祭典） 995千円

【事業目的及び概要】

小・中学生が家族や仲間とのふれあいを深めながら、心豊かでたくましい子どもに育てることを目的として、自然体験活動や野外でのキャンプ活動、創作活動等さまざまな活動を体験する機会を提供する事業である。

【事業内容】

(1) 自然と遊ぼう

活動名	期日	対象	募集定員	内容
たねさしワールド 「春のハイキング」	5/17(日)	小・中学生とその保護者	100名	春の自然を楽しもう ・種差海岸ハイキング等
たねさしワールド 「エンジョイ！ 海遊び」①② ※2回開催	7/4(土)		100名	海で思いっきり遊ぼう いかだ、カヌー、サンドクラフト、磯遊び等
	7/5(日)		100名	
たねさしワールド 「秋を感じて」	10/18(日)		100名	秋の自然を楽しもう 自然に親しむゲーム、創作活動等
たねさしワールド 「つくって新発見」	12/6(日)		100名	つくって楽しもう クリスマスリースづくり等
たねさしワールド 「エンジョイ！ 雪遊び」①② ※2回開催	1/30(土)	4歳以上の幼保・小・中学生とその保護者	100名	雪で思いっきり遊ぼう スノーチューブすべり、そり遊び、スノークラフト等
	1/31(日)		100名	
たねさしワールド 「こども大作戦」 ①② ※2回開催	2/13(土) ～14(日)	小3年～4年	40名	子どもだけで泊まって楽しもう 仲間づくり、レクリエーション、夜の森探検等
	2/27(土) ～28(日)	小1年～2年	40名	

(2) 子どもの祭典

事業名	期日	対象	募集定員	内容
おいでよ！ サマーキャンプ	7/28(火) ～31/(金)	小5～中3	30名	・テントでの宿泊体験 ・野外炊事 ・ナイトハイク ・海での活動 等

わくわくどきどき ウィンターキャン プ	12/24(木) ～26(土)	小5 ～中3	20名	<ul style="list-style-type: none"> ・冬の野外テントでの宿泊体験 ・野外での遊び体験 ・冬の自然体験 ・森での活動等
---------------------------	--------------------	-----------	-----	---

自然体験活動支援事業 282千円

〔事業目的及び概要〕

学校や身近な野外活動場所で子どもたちに自然体験活動の場を提供することを目的として、種差少年自然の家職員が現地に出向いて自然体験活動の実地支援を行う。また、自然体験活動の指導者の資質向上を図ることを目的として、小中学校及び関係機関等の指導職員を対象に行う研修事業である。

〔事業内容〕

事業名	期 日	対象	募集 定員	内 容
自然体験活動 出前講座	4・5月及び 10月～3月	三八、上北管内の 小・中学校、児童館、 公民館、青少年団体 や成人団体等 ※15名以上の団体		<ul style="list-style-type: none"> ・種差少年自然の家のプログラムの中で出前対応可能なもの (せんべい焼き、どんぐりアート、動物マグネット、フライパンピザ等)
自然体験活動 研修会	6/6(土) ～7(日)	幼・小・中学校教員、 高校・大学生、児童 館など関係機関の 指導者、その他自然 体験活動に興味の ある方	50名	<ul style="list-style-type: none"> ・アドベンチャーゲームや野外活動 ・野外炊事や創作活動等のプログラムの実習 ・自然体験活動にかかわる演習 ・危機管理対応訓練等

在学少年宿泊指導者研修

〔事業目的及び概要〕

種差少年自然の家を利用する小・中学校の引率教員を対象に、宿泊学習や野外活動等を効果的に行うことを目的として、活動プログラムの内容・指導の仕方や施設・設備の利用の仕方等について学ぶとともに、利用する際の日課表を具体的に作成するための研修会を開催する事業である。

〔事業内容〕

- 期日：4/20(月)～21(火)
- 対象：平成27年度利用小・中学校及び特別支援学校の引率教員
- 講義：社会教育施設としての自然の家の効果的な利用の仕方
- 実習：活動プログラムの実習（野外、自然、創作活動、夜の活動）、施設等の利用方法
- 演習：活動計画の立案、プログラムの相談、事前打合せ、確認

親子で学ぶ防災キャンプ事業 222千円

〔事業目的及び概要〕

避けることのできない自然災害に遭遇したとき、災害時における実践的な対応能力を育むことを目的として、小・中学生の家族を対象に行う研修事業である。

〔事業内容〕

事業名	期 日	対象	募集 定員	内 容
親子の絆 ～防災編～	9/12(土) ～13(日)	小・中学生と その保護者	24組 80名	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者等の避難疑似体験 ・プレーホールでの避難体験泊 ・停電時の炊事等